

令和 元 年度 第2次総合計画 施策マネジメントシート
(平成 30 年度の実績評価)

作成日 令和 1 年 6 月 17 日
更新日 令和 年 月 日

総合計画体系	政策No.	3	政策名	うるおいと活力のある快適なまちの形成	施策主管課	建設部 都市計画課
	施策No.	16	施策名	都市空間の整備	施策主管課長名	古屋 桂
施策関連課名			政策推進課、管理住宅課			

1 施策の目的

① 対象(誰、何を対象としているのか) * 人や自然資源等	② 意図(この施策によって対象をどう変えるのか)
市民 公園 街並み、自然景観	市民が安らぎ穏やかに生活できる。 災害時に市民の安全が確保される。 是正された色彩により街並みが美しくなる。
対象の大きさを表す指標 ⇒ 2-① 対象指標	意図の達成度を表す指標 ⇒ 2-② まちづくり指標

2 指標の推移、指標設定の根拠等

指標区分、指標名		単位	数値区分	基本計画現況値	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度	
① 対象指標	ア 市人口	人	見込み値			72,322	72,001	71,680	71,359	71,038	
			実績値	72,963	72,715	72,305	72,018	71,880	71,602		
	イ 公園面積	㎡	見込み値			964,890	964,890	964,890	964,890	964,890	964,890
			実績値	964,890	964,890	964,890	964,890	964,890	964,890		
	ウ 用途地域	ha	見込み値			492.6	492.6	492.6	492.6	696.6	696.6
			実績値	492.6	492.6	492.6	492.6	492.6	492.6	492.6	
② まちづくり指標	A 市内の街並みや景観は、美しいと感じている市民の割合	%	目標値			53.8	54.6	55.4	56.2	57.0	
			実績値	52.8	50.8	55.7	55.6	57.3	45.2		
	B 公園など子どもの遊び場の整備状況に関する市民の満足度	%	目標値			32.7	33.4	34.1	34.8	35.5	
			実績値	32.1	32.1	33.3	32.5	35.1	30.3		
	C 地区計画や景観計画に基づく地区および施設の指定数	件	目標値			2	2	3	3	3	
			実績値	2	2	3	3	3	3		
	D 違法屋外広告物の是正割合	%	目標値			17.0	21.0	25.0	29.0	33.0	
			実績値	7.8	12.2	17.9	23.6	34.5	40.8		
	E		目標値								
			実績値								
まちづくり指標設定の考え方		<p>A: 街並みや景観の整備に関する市民の評価を示す。 【市民アンケートの「市内の街並みや景観は美しいと感じますか」において、「感じる」「まあまあ感じる」と回答した人の割合】</p> <p>B: 公園の整備状況に関する市民の評価を示す。 【市民アンケートの「公園など子どもの遊び場の整備状況について、満足していますか」において、「満足している」「やや満足している」と回答した人の割合】</p> <p>C: 景観形成に関する地域の取り組み状況を示す。 【景観計画に基づく景観形成推進地区・景観重要施設の指定件数+地区計画を策定した地区件数】</p> <p>D: 屋外広告物の適正化指導の成果を示す。 【適性化完了件数÷是正対象件数×100】</p>									
目標値の設定の根拠(前提条件や考え方等)		<p>A: 景観計画に基づき、啓発活動及び景観形成地区の指定等により5年間で約4%の上昇を見込み目標に設定</p> <p>B: 公園の長寿命化計画に基づく修繕・更新を行い、安全で憩いの交流の場を提供することにより5年間で約3%の満足度の上昇を見込み目標設定</p> <p>C: 現在の地区計画が認定されている1件(柿平)と景観重要樹木1件(上高砂の松並木)に加え、景観計画に基づき、5年間で景観形成推進地区・景観重要施設等1地区の指定に向け取り組む</p> <p>D: 山梨県のは正方針に基づき、5年間で約25%の指導成果を目指す</p>									

3 予算等の推移

※当初予算額。骨格予算の年度は6月補正後

区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度	
関連事業本数	35	32	31	29	29	33	29	
関連事業予算額(単位:千円)	138,957	178,949	166,816	183,126	202,525	824,121	162,181	
(予算額の内訳)	国庫支出金	0	9,000	17,500	17,500	28,500	42,345	10,000
	県支出金	6,144	3,099	93	90	90	2,059	21
	地方債	2,700	16,500	16,600	32,100	44,900	586,100	14,300
	その他	4,914	5,732	5,097	4,551	4,551	4,551	8,007
	一般財源	125,199	144,618	127,526	128,885	124,484	189,066	129,853

4 評価結果(施策の有効性評価)

① 目標達成度評価(目標値と実績値との比較)

- 目標値より高い実績値だった
- 目標値どおりの実績値だった
- 目標値より低い実績値だった

※左記の理由

市民アンケート結果からまちづくり指標A、Bとも目標値及び前年度値を大きく下回っている。
 指標Aについては、新規に眺望や景観を阻害する案件もなく苦情等はなかったが、太陽光パネル、空き家の増加によるものか特定は難しいが、さらに適正な指導及び普及活動に努める。
 指標Bについては、自由意見から身近な公園整備の要望があることから目標値に達していないと考えられる。

② 時系列比較(基本計画現況値からの推移)

- 成果がかなり向上した
- 成果がどちらかと言えば向上した
- 成果はほとんど変わらない(横ばい状態)
- 成果がどちらかと言えば低下した
- 成果がかなり低下した

※左記の理由

街並み景観については、H30年度値で大幅に低下、要因としては、人口減少、耕作放棄地などの社会問題を抱えているのではないかと考え、適正な指導及び普及活動に努めることにより、平均値に上昇すると考える。
 公園整備状況については、約5ポイント低下したがほぼ横ばい状況であり、これまでと際立った変化が見られないことが要因と考える。
 屋外広告物については、毎年目標値を上回り、県の目標値25%をも達成し、違反広告物の減少指標により増減があるが、総体的にはほぼ横ばいと判断した。

③ 他自治体との成果実績値の比較

- かなり高い成果水準である
- どちらかと言えば高い成果水準である
- ほぼ同水準である
- どちらかと言えば低い成果水準である
- かなり低い成果水準である

※左記の理由

他自治体との成果実績の比較については、設問項目が同じで無いため一概に比較はできないが、甲府市、韮崎市の類似公表値と比較しても大きな開きがある。
 景観に関し甲府市56.9%(H30)、韮崎市55%(H28)であった。
 公園に関し甲府市59.9%(H30)、韮崎市52%(H28)であった。
 現年度のみの数値で比較するとかなり低い成果となるが、前年度までの推移を見るとどちらかと言えば低い水準とした。

5 まとめ(課題の抽出と解決の方向性)

施策の課題 (現状の問題点)	課題解決の方向性
市内の街並みや景観は美しいと感じる人が少なくなった。 市内に野立ての太陽光パネルの増加。(個人所有地への設置について法的な規制が出来ない) 住宅戸数は増えているものの核家族化による空き家の増加。	民有地への設置であり、基準に則っている限り規制が出来ない状況があるが、管理住宅課、環境課、農業委員会等と連携し適切に指導していく。尚、太陽光発電は開発申請時に周囲を囲むフェンス等については、景観色(マンセル値)の指導により、適切な指導も行っていく。 また、まち歩きイベントなどにより景観形成や緑の保全についての意識付けを図る。
・右肩上がりの時代に整備された施設が耐用年数を超え施設等の不具合などが発生している。 また、整備時に植栽された樹木等が成長し年々苦情件数が多くなってきている。	都市公園については、長寿命化計画に基づき遊具等の定期点検、また、担当によるパトロールを行い危険個所の抽出を行い優先度を定め適切な維持管理の実施。維持修繕には多額の予算を要するため、交付金事業等においてはアンテナを高くし積極的に要望していく。 自由意見に記載のある身近な公園の整備、修繕等については、各地域と連携を取り、新設・修繕に対する市の補助金事業により適切な維持管理に努める。
未是正の屋外広告物が市内に設置されている。	市内に設置されている屋外広告物の巡回点検を実施し、許可申請の無い広告物に対し県条例の制度や規制内容を丁寧に説明し、届け出及び是正指導を行う。